

# 九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録推進講演会 「薩摩・萩の近代化産業遺産群の特色と佐賀—世界遺産への取組」

◆日本の近代化をリードした「薩・長・肥」が集合!!

## 日本から世界へ 今 新たなる飛躍が始まる!!

- 目的
- ◆「九州・山口の近代化遺産群」世界遺産登録へ向けて、九州・山口各県との協力体制をアピールする。
  - ◆九州・山口の中で、中心的な取組を行っているとともに、佐賀県の近代化産業遺産と深い関わりを持つ、鹿児島・萩の状況を広く紹介することにより、佐賀県民の新たな意識高揚の起爆剤とする。

日時／平成22年 **1月16日(土)**  
13:30～16:30

会場／**佐賀県立美術館ホール**

聴講料  
**無料**

定員  
**400名程度**

※事前申し込みは行いません。当日、直接会場へお越しください。

### ■主な内容／

- ①基調講演 ○鹿児島県尚古集成館事業の概要と、世界遺産登録へ向けた取組  
鹿児島県尚古集成館 副館長 / 松尾 千歳氏
- 萩の反射炉を始めとする近代化遺産群の特色と、世界遺産登録へ向けた取組  
山口県萩市萩博物館 主任研究員 / 道迫 真吾氏
- 三重津造船所跡の発掘調査の成果  
佐賀市教育委員会文化振興課 文化財係長 / 前田 達夫氏
- ②記念討論 「世界遺産登録推進へ向けての連携の課題」  
鹿児島県尚古集成館 副館長 / 松尾 千歳氏  
山口県萩市萩博物館 主任研究員 / 道迫 真吾氏  
佐賀市教育委員会文化振興課 文化財係長 / 前田 達夫氏

主催／佐賀県・佐賀城本丸歴史館 ■協力／鹿児島県鹿児島市「尚古集成館」・山口県萩市「萩博物館」・佐賀県佐賀市「佐賀市教育委員会」

■お問合せ

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 TEL／**0952-41-7550**

### 講師プロフィール



萩博物館研究員

**道迫 真吾**

1972年福岡県生まれ。明治大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2010年現在、萩博物館研究員・萩市世界遺産推進課を兼務。専門は明治維新史・洋学史。

- 主な研究履歴  
論文「幕末長州藩の大砲製造技術に関する研究」(2007年)
- 主な著書  
『萩の近代化産業遺産』(2009年) など



島津興業 尚古集成館 副館長

**松尾 千歳**

1960年福岡県生まれ。昭和58年鹿児島大学法文学部人文学科卒(日本史学)、同年尚古集成館入館、鹿児島大学法文学部非常勤講師。

- 主な研究履歴  
集成館事業に関する研究
- 主な著書  
『図録 薩摩のモノづくり 島津斉彬の集成館事業』尚古集成館(2003年9月15日)  
『鹿児島県の歴史』(共著) 山川出版社(1999年8月25日)  
『島津斉彬の挑戦—集成館事業—』(共著) 春苑堂出版(2002年3月20日) など



佐賀市教育委員会

**前田 達夫**

1961年福岡県生まれ。1989年より佐賀市教育委員会に勤務(文化財専門職)。主として埋蔵文化財発掘調査に従事。昨年より世界遺産調査業務に関わる。

- 主な研究履歴  
飛鳥時代の墳墓
- 主な著書  
「終末期古墳における立地形態の共通性とその意義」『牟田祐二君追悼論集』(1994年)  
「それは古墳時代終末期ではない」『佐賀考古』1号(1994年) など